

令和5年度 学校評価シート

学校名： 海南高等学校 定時制

校長名： 川久保 尚志

目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

- ・地域とともに、次代を担う自立した社会人を育成する学校
- ・働きながら、自らのキャリア形成のために学び続ける姿勢を持った生徒

学校評価の公表方法

学校のホームページで公開
学校運営協議会で公表

現状・進捗度	A	十分に達成している。	(80%以上)
	B	概ね達成している。	(60%以上)
	C	あまり十分でない。	(40%以上)
	D	不十分である。	(40%未満)

自己評価（分析、計画、取組、評価）

番号	計画・取組				評価（12月1日現在）		
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	一人一人に応じた指導を行い、基礎学力の向上と自ら学ぶ姿勢を養う。	B	生徒一人一人の学びの状況に応じた特色ある授業を展開する	授業アンケートによる満足度80%以上	A	授業に関する項目の全てにおいて90%以上の満足度を得ることが出来ている	教科の特性によるばらつきはあるものの、全体としてICT機器の活用は進んでいる。基礎学力の向上と、自ら学ぶ姿勢を養うため、生徒の状況に合わせて一人一台端末を有効に活用していく。
			一人一台端末を活用して、主体的に学ぶ姿勢を養う	一人一台端末を活用した授業を、年5回以上実施する	B	少人数授業のため、一人一台端末を活用する場面を多く取ることが出来なかった。	
			ICT機器の活用を通じて、学習に対する興味関心を高める	ICT機器を活用した授業の実施を推進できているか	A	教科特性による差はあるが、ICT機器の活用は進んでいる。	
2	個性を尊重し、学校生活に安心安全に送ることが出来るように、サポートを充実させる。	A	教育相談による定期的な面接を実施して、生徒の状況の把握を行う	スクールカウンセラーとの面談を、学期に2回以上実施する	A	スクールカウンセラーによる全生徒への教育相談を計画的に実施し、生徒の状況を細やかに把握できた。	少人数の利点を生かし、一人一人の状況に応じた細やかなサポートを継続的に行っていく必要がある。スクールカウンセラーや外部機関との連携を深めることで、安心安全な学校生活を送れる環境を整えることが重要である。
			自他を尊重する人間関係構築力を育成する	教員と共に企画し、協力しながら、主体的に学校行事が実施できたか	A	遠足や体育大会などの学校行事で、生徒が主体となり教員と協力して活動できた。	
			登下校の交通安全教育を徹底することで、交通事故などの発生を防止する	通学時の事故防止や校門・学校周辺の交通安全指導を実施する	A	毎日の登校時の校門指導や交通安全教育を実施した。	
3	勤労観・職業観を育成し、自らのキャリア形成に主体的に取り組む姿勢を養う。	B	望ましい勤労観や職業観を育成する	キャリアに関する授業を年3回以上実施する	A	進路適性検査や進路ガイダンス、進路に関わる人権問題などの授業を実施した。	夜間定時制であり、生徒数が少ないことから、外部講師を招聘することが出来なかった。そのため、外部の関係機関が実施する就職ガイダンスへの参加や、企業での勤務経験がある教員が進路講演を行うことで補った。 職業観や勤労観の育成と、計画的なキャリア指導を行うことができた。
			外部の関係機関が行うガイダンスへの参加や、外部講師による講演会を実施する	ガイダンスへの生徒の参加状況を改善する 外部講師による講演会を年2回以上実施する	B	校外の就職ガイダンスへの参加や企業見学の実施や、教員による進路講演や面接指導などを行った。	
			三者面談及び個人面談を複数回実施する事で、就職や進学に関する希望を把握し、適切な情報を提供する	進路未決定の卒業生を減らすとともに、外部機関との連携で卒業後もサポートを継続する	A	複数回の進路LHRや三者面談によって進路決定をした。今年度、進路未決定の生徒はいなかった。	

学校関係者評価（1月12日実施）

- 生徒
学校評価に関するアンケートの結果より、「本校での学校生活は充実していると思いますか」「本校での生活は、自分の将来にとって有益であると思いますか」「本校の先生は、生徒の話をよく聞いてくれると思いますか」「本校では、教材や教え方に様々な工夫をしている先生が多いと思いますか」等、ほぼすべての項目において、「非常に思う」または「思う」という肯定的な回答を得ている。一方で、本校の教育目標や取り組みの周知については、やや低い評価となっている。
- 保護者
学校評価に関するアンケートの結果、「本校は、保護者や地域の方々と話をする機会を設けていると思いますか」「生徒に対してわかりやすい充実した授業を行っていると思うか」、「基本的な生活習慣や規範意識を身につける指導が行われているか」等ほぼ全ての多くの項目で、保護者から「非常に思う」または「思う」という肯定的な評価を得ており、本校の授業や指導に対する評価は高い。昨年度は、生徒会活動や部活動、学校行事等についての評価が低かったが、今年度は改善されている。
- 教職員
教職員の学習指導・生徒指導への取り組みや、生徒に対する進路指導や情報提供および人権教育など、生徒と直接かかわる場面の多くの項目において、すべての教員が「十分である、ほぼ十分である」と考えている。生徒や保護者からの信頼を感じながら職務を遂行できている一方、ボランティア活動や生徒会活動等については評価が低くなっている。生徒数が少ないことに起因する部分ではあるものの、少人数であることの利点を生かすことが出来る取り組みをもっと検討しなければならない。